

1. 病院報告の概況

1 在院患者数

令和5年の年間の在院患者延数は4,202,398人(前年4,238,738人)で、新入院患者数は112,022人(同110,699人)、退院患者数は111,960人(同110,804人)である。1日平均に換算して在院患者数を見ると11,513.4人(同11,613.0人)で、前年に比べ99.6人減少している。

一日平均在院患者数を病院の種類別にみると、一般病院では9,380.4人(総数の81.5%)で、前年の9,405.2人に比べ24.8人、精神科病院では2,133.0人(同18.5%)で前年の2,207.8人に比べ74.8人減少している。

また、これを病床の種類別にみると、一般病床では4,866.9人(総数の42.3%)で、前年の4,736.5人に比べ130.4人増加しており、精神病床では3,441.6人(同29.9%)で、前年の3,530.8人に比べ89.2人減少している。結核病床では、9.5人(同0.1%)で前年の11.7人に比べ2.2人減少している。

なお、療養病床では3,165.7人(総数の27.5%)で、前年の3,222.4人に比べ56.7人減少している。

2 外来患者数

令和5年の年間の外来患者延数は3,419,074人(前年3,444,085人)である。1日平均に換算すると患者数は9,367.3人(同9,435.8人)で、前年に比べ68.5人減少している。

一日平均外来患者数を病院の種類別にみると、一般病院では8,676.6人(総数の92.6%)で、前年の8,721.2人に比べ44.6人減少し、精神科病院では690.7人(同7.4%)で前年の714.6人に比べ23.9人減少している。

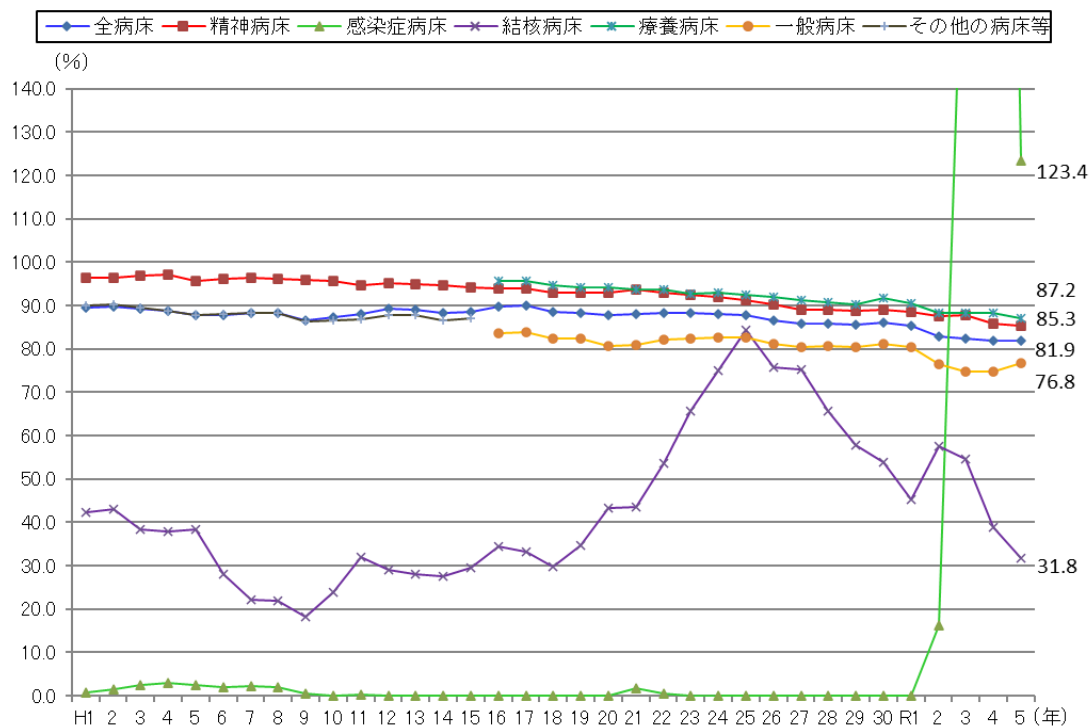
3 病床利用率

全病床における病床利用率は81.9%(前年82.0%)で、前年に比べ0.1ポイント減少している。

病床の種類別にみると、感染症病床における病床利用率が123.4%(同464.8%)と最も高く、次いで療養病床が87.2%(同88.2%)となっている。

保健所別では、杵藤保健所が87.4%と最も高く、佐賀中部保健所が78.7%と最も低くなっている。

図1 病床利用率の年次推移(佐賀県)



(注) その他の病床等は平成16年から療養病床と一般病床に分けて表示している。